

平成19年3月期 第3四半期財務・業績の概況（非連結）

平成19年2月9日

上場会社名 株式会社オプトロム

(コード番号：7824 名証セントレックス)

(URL <http://www.optrom.co.jp/>)

問合せ先 代表者役職・氏名 代表取締役社長 三浦 一博 TEL：(022) 392-3711

責任者役職・氏名 常務取締役管理部長 須藤 恒夫

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

- ① 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
(内容)

・減価償却費等の計上については、簡便な手続きによっております。

- ② 最近事業年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 有
(内容)

・廃材売却収入の会計処理 : 廃材売却収入は従来、営業外収益として計上しておりましたが、当会計期間から製造費用(売上原価)の控除項目として計上する方法に変更しました。この変更により、売上原価及び営業外収益は25,862千円減少しております。この結果、従来と同一の方法を採用した場合と比べ、売上総利益及び営業利益は25,862千円増加し、経常利益に与える影響はありません。

2. 平成19年3月期第3四半期財務・業績の概況（平成18年4月1日～平成18年12月31日）

(1) 経営成績の進捗状況

(百万円未満切捨)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
19年3月期第3四半期	2,545	(-)	203	(-)	131	(-)	74	(-)
18年3月期第3四半期	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)
(参考)18年3月期	3,346		251		207		105	

	1株当たり四半期(当期)純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益
	円 銭	円 銭
19年3月期第3四半期	5 33	-
18年3月期第3四半期	-	-
(参考)18年3月期	7 88	-

(注) 1 前年同四半期については、四半期決算を行っていないため記載を省略しております。

そのため、売上高、営業利益、経常利益、四半期(当期)純利益におけるパーセント表示の対前年第3四半期増減率は、記載しておりません。

2 期中平均株式数 19年3月期第3四半期 14,018,182株 18年3月期 13,400,000株

3 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、期中平均株価が新株予約権の行使価格より低く、1株当たり四半期(当期)純利益が希薄化しないため、記載を省略しております。

[経営成績の進捗状況に関する定性的情報等]

当第3四半期における我が国の経済は、企業収益の伸びとともに製造業を中心とした設備投資が堅調に推移し、原油価格や世界経済の動向に先行きの懸念はあるものの、個人消費については一部弱含みながら薄型テレビ等の家電品購入増加により持ち直しの動きが見られる等、景気は穏やかな回復が続く状況となりました。

当社が関連する国内CD業界において、音楽CDの2006年4月～12月の生産数量は215百万枚(前年同期比8.4%減)、生産金額は255,044百万円(前年同期比7.6%減)といずれも前年実績を下回りました。(社団法人日本レコード協会統計資料「オーディオレコード生産実績」から2006年4月～12月データを抜粋)

この減少は、携帯電話による着うたダウンロードやインターネット有料音楽配信サービスの利用が若年層で増加する一方、主力の邦楽アルバムがヒット不足となった影響によるものと見られ、当社のCD部門の売上高においても音楽CDを含むCD-DA(オーディオCD)は前年同期に比べ7.7%減少、複合型CD(CD-ROM)については、インターネット配信のほかコンテンツの大容量化に伴うメディア切替等の影響により前年同期に比べ23.0%減少しました。この結果、当社におけるCD合計の販売数量は33,165千枚(前年同期比14.8%減)、販売金額は1,518,602千円(前年同期比14.1%減)となりました。

一方、国内のDVD業界におけるセル・レンタルを合算した2006年4月～12月の販売数量は83百万枚(前年同期比5.4%減)、販売金額は252,602百万円(前年同期比5.7%減)となり、僅かながら前年実績を下回る結果となりました。(社団法人映像ソフト協会統計資料「ビデオソフト売上実績」から2006年4月～12月データを抜粋)

この状況は、これまでセル(販売用)市場を牽引してきた洋画部門においてヒット作が減少したことが原因となっておりますが、非映画ジャンルであるアニメーション、芸能、趣味、娯楽部門の伸張が著しいことから、DVD市場自体は依然として拡大する状況にあります。このような状況にあつて、当社のDVD部門は、昨年10月に4号生産ラインを導入し月産能力を150万枚体制に増強した結果、販売数量は8,874千枚(前年同期比59.9%増)、販売金額は827,184千円(前年同期比73.5%増)と前年を上回りました。

また、スタンパー(光ディスク生産用原盤)部門は、台湾を中心とする東南アジア地域の記録型光ディスク・プレスメーカーに対し、CD-R/RW及びDVD±Rスタンパーの販売を積極的に推進してまいりました。長年蓄積した技術ノウハウを活かし、商品価値の高いDVD±Rスタンパーに注力した営業展開を図っておりますが、当初の世界市場予測に反し、記録型光ディスク市場においては現在のところCD-R/RWの需要が底堅く、次の段階となるDVD±Rへのメディア移行が遅れ気味の状況にあります。このような状況にありながら、当社のスタンパーにおける販売数量は3,921枚(前年同期比102.0%増)、販売金額は153,598千円(前年同期比73.2%増)と前年を上回りました。

これらの結果、当第3四半期における売上高は2,545,607千円(前年同期比6.0%増)、営業利益は203,111千円(前年同期比29.6%増)、経常利益は131,608千円(前年同期比5.0%増)、四半期純利益は74,647千円(前年同期比7.7%増)となりました。

なお、昨年10月の株式上場に伴う株式交付費及び上場関連費用23,793千円を営業外費用として計上しております。

(2) 財政状態の変動状況

(百万円未満切捨)

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり 純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
19年3月期第3四半期	4,094	1,657	40.5	104.27
18年3月期第3四半期	—	—	—	—
(参考)18年3月期	3,904	1,238	31.7	92.40

(注) 1 前年同四半期については、四半期決算を行っていないため記載を省略しております。

2 期末発行済株式数 19年3月期第3四半期 15,900,000株 18年3月期 13,400,000株

【キャッシュ・フローの状況】

(百万円未満切捨)

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
19年3月期第3四半期	340	△271	34	330
18年3月期第3四半期	—	—	—	—
(参考)18年3月期	361	△306	△50	225

(注) 前年同四半期については、四半期決算を行っていないため記載を省略しております。

[財政状態の変動状況に関する定性的情報等]

当第3四半期末の財政状況は、前事業年度末に比べ総資産が189,797千円の増加、負債が229,850千円の減少及び株主資本が419,647千円の増加となっております。

これらの要因について、資産の増加は、公募増資による現金の増加、DVD4号ライン設備導入に伴う有形固定資産の増加によるものです。負債の減少は、短期借入金及び長期借入金の返済によるものです。また、株主資本の増加は、公募増資に伴う新株式の発行によるものであります。

キャッシュ・フローの状況

当第3四半期会計期間における現金及び現金同等物の残高は330,629千円となり、前事業年度末と比較し104,830千円の増加となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、増加した資金は340,582千円であります。これは主に税引前四半期純利益131,669千円、減価償却費214,059千円、売上債権の減少38,034千円、たな卸資産の増加31,505千円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、減少した資金は271,382千円であります。これは主に有形固定資産の取得271,252千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、増加した資金は34,870千円であります。これは主に公募増資に伴う新株式発行収入341,238千円、長期借入金の返済186,336千円、短期借入金の返済100,000千円によるものであります。

○ 添付資料

(要約) 四半期貸借対照表、(要約) 四半期損益計算書

(要約) 四半期株主資本等変動計算書、(要約) 四半期キャッシュ・フロー計算書

以上

[参 考]

平成19年3月期の業績予想（平成18年4月1日 ～ 平成19年3月31日）

	売 上 高	経 常 利 益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
通 期	3,500	240	129

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期) 8円 93銭

(注) 平成18年10月25日に2,500,000株の公募増資に伴う新株式の発行を実施しております。

なお、1株当たり予想純利益(通期)は、当該増資後の発行済株式により算出しております。

[業績予想に関する定性的情報等]

現時点での業績予想につきましては、平成18年11月16日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

※ 上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しております。実際の業績は、今後様々な要因によって予想値とは異なる可能性があります。

[添付資料]

1. (要約) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

科 目	当四半期	前年同四半期	(参考)
	(平成19年3月期第3四半期末)	(平成18年3月期第3四半期末)	平成18年3月期
	金 額	金 額	金 額
(資産の部)			
I 流動資産			
1. 現金及び預金	344,831	—	240,001
2. 受取手形	191,887	—	224,827
3. 売掛金	614,443	—	619,538
4. たな卸資産	115,903	—	84,397
5. その他	68,422	—	84,159
貸倒引当金	△ 169	—	△ 230
流動資産合計	1,335,319	—	1,252,693
II 固定資産			
1. 有形固定資産			
(1) 建物	691,936	—	700,649
(2) 機械及び装置	951,347	—	852,803
(3) 土地	926,225	—	926,225
(4) その他	50,941	—	57,604
有形固定資産合計	2,620,450	—	2,537,281
2. 無形固定資産	12,718	—	14,714
3. 投資その他の資産	126,102	—	100,103
固定資産合計	2,759,271	—	2,652,100
資産合計	4,094,590	—	3,904,794

(単位：千円)

科 目	当四半期	前年同四半期	(参考)
	(平成19年3月期第3四半期末)	(平成18年3月期第3四半期末)	平成18年3月期
	金 額	金 額	金 額
(負債の部)			
I 流動負債			
1. 買掛金	123,743	—	130,448
2. 短期借入金	700,000	—	800,000
3. 一年以内返済予定 長期借入金	250,404	—	248,937
4. 未払金	227,959	—	178,929
5. 賞与引当金	13,557	—	30,910
6. その他	95,973	—	64,460
流動負債合計	1,411,637	—	1,453,685
II 固定負債			
1. 長期借入金	1,024,811	—	1,212,614
2. その他	250	—	250
固定負債合計	1,025,061	—	1,212,864
負債合計	2,436,698	—	2,666,549
(資本の部)			
I 資本金	—	—	782,000
II 資本剰余金	—	—	292,000
III 利益剰余金	—	—	164,245
資本合計	—	—	1,238,245
負債資本合計	—	—	3,904,794
(純資産の部)			
株主資本			
1. 資本金	954,500	—	—
2. 資本剰余金	464,500	—	—
3. 利益剰余金	238,892	—	—
株主資本合計	1,657,892	—	—
純資産合計	1,657,892	—	—
負債純資産合計	4,094,590	—	—

2. (要約) 四半期損益計算書

(単位：千円)

科 目	当四半期 (平成19年3月期第3四半期)	前年同四半期 (平成18年3月期第3四半期)	(参考) 平成18年3月期
	金 額	金 額	金 額
I 売上高	2,545,607	—	3,346,777
II 売上原価	2,049,808	—	2,720,103
売上総利益	495,799	—	626,674
III 販売費及び一般管理費	292,688	—	375,214
営業利益	203,111	—	251,459
IV 営業外収益	19,181	—	36,767
V 営業外費用	90,683	—	80,879
経常利益	131,608	—	207,347
VI 特別利益	61	—	350
VII 特別損失	—	—	22,650
税引前四半期(当期) 純利益	131,669	—	185,047
法人税、住民税及び 事業税	21,936	—	3,240
法人税等調整額	35,085	—	76,155
四半期(当期)純利益	74,647	—	105,652

3. (要約) 四半期株主資本等変動計算書

当四半期会計期間(自平成18年4月1日 至平成18年12月31日)

	株主資本					株主資本 合計	純資産合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金			
		資本準備金	資本剰余金 合計	その他利益剰 余金	利益剰余金 合計		
平成18年3月31日残高(千円)	782,000	292,000	292,000	164,245	164,245	1,238,245	1,238,245
四半期会計期間中の変動額							
新株の発行(千円)	172,500	172,500	172,500	—	—	345,000	345,000
四半期純利益(千円)	—	—	—	74,647	74,647	74,647	74,647
株主資本以外の項目の四半期会 計期間中の変動額(純額)(千円)	—	—	—	—	—	—	—
四半期会計期間中の変動額合計 (千円)	172,500	172,500	172,500	74,647	74,647	419,647	419,647
平成18年12月31日残高(千円)	954,500	464,500	464,500	238,892	238,892	1,657,892	1,657,892

4. (要約) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

区 分	当四半期	前年同四半期	(参考)
	(平成19年3月期第3四半期)	(平成18年3月期第3四半期)	平成18年3月期
	金 額	金 額	金 額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー			
税引前四半期(当期) 純利益	131,669	—	185,047
減価償却費	214,059	—	283,743
賞与引当金の増加額 (△減少額)	△17,352	—	730
貸倒引当金の増加額 (△減少額)	△61	—	△350
受取利息及び受取配当金	△14	—	△6
支払利息	44,688	—	66,989
固定資産除却損	—	—	7,650
たな卸資産の減少額 (△増加額)	△31,505	—	△13,075
売上債権の減少額 (△増加額)	38,034	—	△66,595
仕入債務の増加額 (△減少額)	△6,705	—	△39,494
未払消費税等の増加額 (△減少額)	△16,487	—	24,122
その他	33,884	—	△20,062
小 計	390,210	—	428,698
利息及び配当金の受取額	14	—	6
利息の支払額	△46,402	—	△64,402
法人税等の支払額	△3,240	—	△3,240
営業活動によるキャッシュ・フロー	340,582	—	361,062
II 投資活動によるキャッシュ・フロー			
有形固定資産の取得による支出	△271,252	—	△295,040
無形固定資産の取得による支出	△130	—	△11,218
定期預金の預入による支出	△14,202	—	△14,201
定期預金の払戻による収入	14,201	—	14,201
投資活動によるキャッシュ・フロー	△271,382	—	△306,258
III 財務活動によるキャッシュ・フロー			
短期借入れによる収入	—	—	200,000
短期借入金の返済による支出	△100,000	—	—
長期借入金の返済による支出	△186,336	—	△250,404
株式の発行による収入	341,238	—	—
その他	△20,031	—	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	34,870	—	△50,404
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	760	—	4
V 現金及び現金同等物の増加額 (△減少額)	104,830	—	4,404
VI 現金及び現金同等物の期首残高	225,799	—	221,394
VII 現金及び現金同等物の期末残高	330,629	—	225,799